

多人数Play用 (3~5人)

# BOHNANZA

人数: 3~5人  
年齢: 12歳以上  
所要時間: 45分

## ボナンザ

Uwe Rosenberg 作



### ゲームの目的

各プレイヤーは自分の畑で栽培した豆を商品として、できる限り多くの収入になるように売ります。一つの畑で同じ種類の豆がたくさん収穫されればされるほど、その豆を売ったときの収入も多くなります。しかしながら残念なことに、プレイヤーはしばしば、豆の種類が多くなりすぎて、安値で売りさばかなければならない状況に追い込まれてしまうこともあります。時には、収益が全くないこともあり得るでしょう。ゲームの目的は、豆の取引を通じてもっとも多くのターラー (訳注: このゲームでの通貨です) を稼ぐことにあります。



### 用具

・豆カード: 104枚 ・3つめの豆畑カード: 6枚 ・ルールブック: 1 (本書)

### 【豆カード】

豆カードには8つの種類があり、種類ごとに枚数が異なります。その種類のカードが全部で何枚あるかは、それぞれの豆カードのイラスト上に数字で示されています。

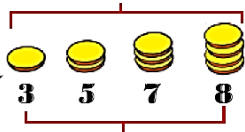


“SOY BEAN”は全部で12枚あります。

全ての豆カードの下側には、“豆価格表”が書かれています。価格表には、プレイヤーがその豆を売却したときに、何ターラー獲得するかが示されています。そこに書かれている数値は、1~4ターラー (例外: GARDEN BEANは2~3ターラー) 獲得するためには、同じ種類の豆カードが豆畑に何枚なければならないかを示しています。4ターラー獲得するために必要な枚数以上の豆カードを集めても意味はありません。



売却時に獲得できるターラー数



上のターラー数を獲得するために必要なカード枚数

【例1】  
左図の豆カードの場合は、3または4枚を売ることにより1ターラー獲得。5もしくは6枚なら2ターラー、7枚で3ターラー、8枚(以上)では4ターラーを獲得できる。

### 【豆畑】

- ・ゲームの開始時には、各プレイヤーは自分の前に2つまで、豆カードをプレイする列を持っています。これらの列のことを、豆畑と呼ぶことにします。
- ・各プレイヤーは、ゲーム中に1回限り3つめの豆畑を購入することができます。これを持てば、その後ゲーム終了まで3つめの豆畑を持つことができるようになります。
- ・3つめの豆畑の価格は3ターラーで、これは獲得したターラーを裏返して捨てることによって支払います。
- ・「3つめの豆畑」カードを取り、自分の前に他のプレイヤーによく見えるように置いておきます。

最初から持っている2つの豆畑



【3つめの豆畑】  
3ターラーで購入できる。この上に豆カードを置いていきます。

### 準備

- ・5枚の「3つ目の豆畑」カードは、さしあたって箱の中に入れておいてください。
- ・豆カードはよく混ぜて、各プレイヤーに5枚ずつ配ります。
- ・残りのカードはコインの描いてある方を上(すなわち裏向き)にして、テーブル中央に置き、これを山札にします。

### 〈用具〉

・豆カード: 104枚  
・3つめの豆畑カード: 6枚  
・ルール(本書)

### 〈ターラー〉

豆カードの裏側には、ターラーを表すコインが1枚描かれています。豆売却時に獲得したターラーの数と同じ枚数の豆カードを裏向きに置くことで、獲得したターラー数を示します。  
(「豆を売る(処分する)」項目参照)



1コイン=1ターラー

### 〈豆カードの各枚数〉

20枚: BLUE BEAN  
18枚: CHILI BEAN  
16枚: STINK BEAN  
14枚: GREEN BEAN  
12枚: SOY BEAN  
10枚: BLACK-EYED BEAN  
8枚: RED BEAN  
6枚: GARDEN BEAN

### 【特に注意!】

ゲーム中、プレイヤーの手札のカードの順序は、いかなる時であっても変えてはなりません。他のカードゲームで行うような、手札のカードの並び替えをしてはいけません。  
▶配られたカードは以下のように取り扱ってください。  
カードを配られたままの順で、手札として持ち、常に一番手前の(先に配られた)カードからプレイします。  
新たに手札となるカードは、手札の一番最後(奥)に加えます。

常に一番右のカードからプレイします



新しい手札は常に、一番左から、1枚ずつ加えます。手札は順番を入れ替えてはいけません。

# BOHNANZA

多人数(3~5人)

カードを配った人の左隣からプレイを開始します。その後は時計回りの順番にプレイします。山札のカードが無くなったら、表向きの捨て札の山札をよく混ぜて、新たな山札とします。3回目の山札が無くなったら直ちにゲーム終了です。最も多くのGoldを獲得したプレイヤーが勝者となります！

## 手番中の4つの行動

行動1  
豆カードをプレイ

行動2  
交換と寄与

行動3  
豆を畑にまく

行動4  
豆カードをドロー

### 進行

手番(自分の番)のプレイヤーは以下の順序で4つの行動を行わなければなりません。

#### 行動1:豆カードをプレイする

- 手札の一番手前のカードを、自分の前にある豆畑にカードを表にして出します。つまり、新たに豆の列をはじめるか、すでにある同じ種類の豆の列につなげるかするのです。(例外:手札が1枚もない場合、この行動は行われません。直ちに行動2に移ります。)
- プレイヤーは更にもう1枚、手札の一番手前にあるカードを、自分のいずれかの豆畑に出すことができます(この2枚目のカードは義務ではありません)。
- 1つの豆畑には常に1種類の豆しかプレイすることはできません。
- もし、自分の豆畑にプレイすることができない種類の豆をプレイしなければならない場合には、すでに豆畑にある豆(カード)を売る(または処分する)して、豆をプレイするための畑を作らなければなりません。

#### 【補足】

ゲームの最初には、もちろん自分の豆畑には、何もありません(自分の前には、まだ表にしたカードが並べられてはいませんが、架空の畑が2つあります。この1つにまず手札の1番手前のカードを置きます。さらにもう一枚、手札の1番手前のカードを畑に置くことができます。はじめに置いたカードと同じ豆のカードなら、同じ畑に並べ、違う種類ならもう1つの畑に置きます。その後の手番の最初には、すでに並べられている同じ種類の豆のカードなら、そこに続けて置けます。並んでいない種類のカードは、空いている畑に置くか、畑を空けて置くかします。

#### 豆を売る(処分する)

豆を売りたい、もしくは売らなければならないプレイヤーは、どの豆を売るか選択します。そして、その畑にある豆カードの数と、その豆カードに示された豆価格表を比較します。獲得できるターラーと同じ枚数のカードを裏返し、ターラーの面を上にして自分の前に置きます。それ以外の豆カードは豆の描かれた面を表にして山札の横に捨てます。売却しても枚数不足で、1ターラーにすらならない場合は、この畑の豆を処分します。すべて豆の面を表にして捨て札にします。



#### 【例2】

Green Beanが3枚あった場合は、1ターラーになります。プレイヤーは3枚のGreen Beanカードのうち1枚を裏返し、獲得したターラーとして自分の前に置きます。残りの2枚のGreen Beanカードは表向きのまま捨てます。捨てたカードは、分かりやすいように山札の横にまとめて置いてください。プレイヤーが獲得したターラーを示すカードは、それ以外のカードと混ぜられないように分けておきます。

#### 【注意!】

- 2枚以上の豆カードが置かれている畑の豆を売却するとき、その畑の豆は全部まとめて売却しなくてはなりません。つまり、1枚だけ、あるいは一部の豆だけを売却することはできません。
- 1枚のカードしか置かれていない畑の豆を売ることはできません。ただし、そのプレイヤーの全ての畑に1枚ずつ豆が置かれている場合には、捨て札とするカードをプレイヤーが自由に選ぶことができます。このカードは1ターラーにもなりません。

#### それ以外の行動:

- いつでも(他プレイヤーの手番であっても)、自分の畑の豆を売ることができます。
- また、3番目の豆畑をいつでも買うことができます。1人のプレイヤーが持てる畑の数は、3つまでです。4つめの畑は買えません。
- また、プレイヤーは他のプレイヤーに対して、いつでも何らかの約束をすることができます。ただし、必ずしも守らなければならないわけではありません。

#### 行動2:交換と贈与

- 手番プレイヤーは山札から2枚のカードをめぐり、全員に見えるようにテーブルの上に表向きにして置きます。
- 手番プレイヤーはこれらのカードをそのまま確保することができます。また、これらのカードを他のプレイヤーと交渉し、交換材料とすることもできます。
- 手番プレイヤーは交渉の際、手札のカードも交換材料に加えて出すことができます。
- 手番以外のプレイヤーは、自分の手札のみが交換材料となります。
- 1枚のカードに対して複数のカードを提案したり、また要求したりして構いません。
- 全てのプレイヤーは、手番プレイヤーに対してのみ、交換を行うことができます。手番プレイヤーが関与しない交換はできません。



#### 【例3】

めくられたカードはSoy Bean®とGarden Bean®でした。このプレイヤーは、自分の畑にRed Bean®とBlack-eyed Bean®を植えていたので、これらのカードは不要でした。そこで彼は、他のプレイヤーに尋ねます。「誰か、この豆がほしい人はいないか?できればこのSoy Bean®とRed Bean®とを交換してほしいのだけれども。」さらに続けて「よし、ではこのめくったGarden Bean®に手札のBlue Bean®をつけて、Red Bean®と交換してくれないか。」

#### 【注意!】

プレイヤーは手札のどの位置にあるカードでも、交換材料とすることができます。しかし、交換の際でも、手札の順番を変えてはならないのももちろんです。手札の交換カードは、交換が決まった時点で、手札から抜きます。提案するときに抜いてはいけません。

- 交換したカードは手札の中には入れません。畑に置いてあるカードとは区別して、プレイヤーの前に置いておきます。また、これらのカードを再び交換に使うことはできません。誰も交換しなくなったら、この行動は終了します。
- この【行動2】の間、全てのプレイヤーは豆カードを贈与することもできます。手番プレイヤーは、手札と山札からめくったカードを贈与することができます。それ以外のプレイヤーは手札のみ、手番プレイヤーに対して贈与することができます。贈与は、必ずしも受け取らなければならないものではありません。

#### 行動3:豆をまく

- 【行動2】で、交換で獲得した全ての豆カード(手番プレイヤーだけでなく、他のプレイヤーも交換で得た豆カードがあればそれらすべて)をそれぞれ自分の畑に置きます。
- また、手番プレイヤーが山札からめくったカードのうち、確保することにした、もしくは他のプレイヤーに渡すことができなかった1枚もしくは2枚のカードも、自分の畑に置かなければなりません。それができない場合には、それらを置くために、まず豆を強制的に売らなければなりません(または処分する)。

#### 行動4:豆カードを引く

- 手番プレイヤーは1枚ずつ3枚のカードを山札から引いて、手札に加えます。
- 引いたカードはカードを引いた順番に手札の後ろに加えていかなければなりません。
- このあと、手番が左隣のプレイヤーに移り、最初から4つの行動を行います。

### ゲームの終了

3回目の山札が無くなったら直ちにゲーム終了です。この時点で、すべてのプレイヤーは、自分の畑の豆を売って、Goldに変えることができます。手札のカードは、蒔いていない種のため、何の意味も持ちません。最も多くのGoldを獲得したプレイヤーが勝者となります！

### ヴァリエーション

- 3人でプレイする場合には、3人も最初から3つ畑を持ってプレイすることをお勧めします。
- また4人でプレイする場合には、3番目の豆畑の価格を2ターラーにするとよいでしょう。

# BOHNANZA

多人数(3~5人用)  
【サマリー】

カードを配った人の左隣からプレイを開始します。  
その後は時計回りの順番にプレイします。

山札のカードが無くなったら、表向きの捨て札の山カードをよく混ぜて、  
新たな山札とします。

**3回目の山札**が無くなったら直ちにゲーム終了です。

畑の豆を売却し、**最も多くのGoldを獲得したプレイヤーが勝者**となります！

## 手番中の4つの行動



手札の右端のカードを  
**1枚か2枚**プレイ(植える)。  
最低1枚はプレイする。

植えた豆を売りたい、あるいは  
売らなければならない場合は、  
まず畑から売却か廃棄する。

山札から**2枚**オープンにする。  
手番プレイヤーは、これらの  
カードを確保可能(手札の左端  
へ、1枚ずつ入れられる)。

交換などの交渉をする。  
各プレイヤーは手札からも交換の交渉  
ができる。交換が決まった時点で、手  
札から抜く。

交換で動いた豆カードとオープ  
ンになっているカードは、この  
フェーズですべて畑に植える。

植えられなければ、畑の豆を売るか  
廃棄して空きを作って、植える。  
2枚以上の畑があるのであれば、  
それを優先して売却か廃棄。

手番プレイヤーは山札から  
**3枚**手札に補充する。

※補充するときは  
1枚ずつ必ず左端へ。

### それ以外の行動:

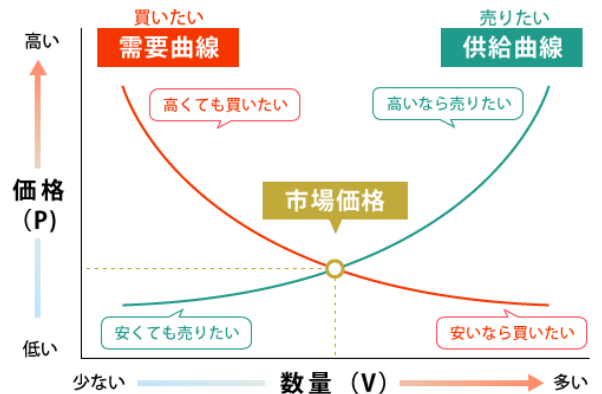
- ・いつでも(他プレイヤーの手番であっても)、自分の畑の豆を売ることができます。
- ・また、3番目の豆畑をいつでも買うことができます。1人のプレイヤーが持てる畑の数は、3つまでです。4つめの畑は買えません。
- ・また、プレイヤーは他のプレイヤーに対して、いつでも何らかの約束をすることができます。ただし、必ずしも守らなければならないわけではありません。

常に一番右のカードから  
プレイします



新しい手札は常に、  
一番左から、1枚ずつ加えます。  
手札は順番を入れ替えてはいけません。  
食品業界は**先入れ先出し**が基本ですね！

### 市場価格の決まりかた



このゲームの特殊なルールは、**手札の順番を変更してはならず、自分の手番では一番手前から順番に豆を出さなければならない事**です。これにより出たくない豆を出して少ない収入しか得られない場合もあります。

このような事態を避けるために**交渉**が許されています。自分の手札も交渉材料となり、自分に不要な豆カードを相手に引き取ってもらいつつ、自分に有利な豆カードを受け取る交渉力が重要です。

交渉ゲームが苦手な方にはオススメできませんが、ボードゲームの歴史を変えた作品の1つだと思えます。ボナンザはボードゲームを超える面白さを持つ数少ない傑作カードゲームです。

# BOHNANZA

DUEL 対戦(2人用)  
【サマリー】

「ボーンザ対決」は、手札制限とプレゼントの効果を活用した、豆の収穫合戦です。

プレゼントカードは、プレイヤーの間に、順番に並べます。  
豆カードとボーナスカードをそれぞれシャッフルします。  
豆カードを各プレイヤーに3枚ずつ、裏向きのまま、3Goldとして配ります。  
これら裏向けの豆カード3枚はお金として使用するため、裏向きのまま金庫に置きます。  
その後、各プレイヤーは、豆カード5枚、さらにボーナスカードを3枚持ちます。  
豆カードの手札の順番は、変えてはいけません。

基本的なシステムは、多人数ボーンザと同じです。大きく違う点は、下記の4つです。

ルール1・畑が3つあり、はじめから3Goldを持っている。

ルール2・それぞれの畑に新たに植えられる豆は、**その畑に直前に植えられた豆と同じか1段階数字が大きい豆**。畑の価値は、最も新しく撒いた豆カードのものになる。  
数字が大きい豆を植えることで収穫したときの価値は下がるけど、捨てるよりは植えたほうが良いかも？

ルール3・**ボーナスカード**。自分が保有する**ボーナスカード**に記載された、決められたパターンの畑が自分の畑か相手の畑にできたら、その時点で発動し得点にできる。  
**ボーナスカード**は発動後【1Gold+記載されたペニー分の価値】(100 pennies = 1 Gold coin)となる。**ボーナスカード**は3枚まで持てる。

ルール4・**交渉**で、下記のルールが追加。

〈豆カードの各枚数〉	
20枚:	BLUE BEAN
18枚:	CHILI BEAN
16枚:	STINK BEAN
14枚:	GREEN BEAN
12枚:	SOY BEAN
10枚:	BLACK-EYED BEAN
8枚:	RED BEAN
6枚:	GARDEN BEAN



手番のプレイヤーは下記の4行動フェーズを順に行う。行動4まで実施したら、相手の手番となる。

行動1  
手札から畑に撒く

行動2  
交渉と寄与

行動3  
場の豆を畑に撒く

行動4  
カードをドロー

手札の右端のカードから**1枚か2枚**プレイ(撒く)。最低1枚はプレイする。

畑に撒けない場合は、まず畑から**売却**が廃棄する。

両者共に、ここで**ボーナスカード**を発動可能。

常に一番右のカードからプレイします



新しい手札は常に、一番左から、1枚ずつ加えます。手札は順番を入れ替えてはいけません。食品業界は**先入れ先出し**が基本ですわね！

豆カードの山札から場に**3枚**出す。

ここで**交渉**タイム。  
手札に持っているカード&3枚オープンされたもののうち、1枚を素材にして、交渉する。  
(普通は相手がほしがらないカード)

どちらかが1枚寄与するまで続く。相手は「受け取る」か「別の豆を逆にあげる宣言」が可能。これも受け取らない場合は、また別の豆の押し付け合いに発展し、選択肢が減っていく。交換が決まった時点で、そのカードを相手に1枚渡す。

【ブラフだった場合】  
もし宣言したカードを持ってない場合(ブラフ)は、**1Gold**を相手に渡す。Goldが無ければ、**一番価値の低いボーナスカード**を相手に渡す。

・交換されたカード1枚は、受け取ったプレイヤーがこのフェーズで必ず撒く。

・手番プレイヤーのめくったカード3枚のうち、少なくとも1枚は、このフェーズで手番プレイヤーが必ず撒く。

植えられなければ、**畑の豆を売る**か、廃棄する。2枚以上の畑があるのであれば、それを優先して**売却**が廃棄する。

・手番プレイヤーは、山札から豆カード**2枚**を補充。(補充は1枚ずつ、必ず左端へ)

・各プレイヤーは**ボーナスカード1枚**捨て札にできる。その後、手番プレイヤーから順に、**ボーナスカード**が2枚以下なら**ボーナスカード**3枚になるまで補充可能。

このフェーズで補充した**ボーナスカード**は即発動できるが、その場合は更に追加で**ボーナスカード**をドローは不可。もし**ボーナスカード**の山が尽きたら、**ボーナスカード**の捨て山をリシャッフルして再度山札を作る。

## ボーナスカード使用方法

ボーナスカード発動

ボーナスGET

ボーナスカードは【1Gold+記載されたペニー分の価値】がある。  
(100 pennies = 1 Gold coin)

相手の畑でも自分の畑でも、達成されればすぐに発動できる。  
発動させた手札の**ボーナスカード**は、金庫に表向きで置き、ゲーム終了時に【1Gold+記載されたペニー分の価値】で計算。

## ゲームの終了

**1回目の山札**がなくなったら直ちにゲーム終了です！この時点で**自分の畑の豆**を売って、Goldに変えます。手札のカードは、蒔いていない種のため、何の意味も持ちません。最も多くのGoldを獲得したプレイヤーが勝者となります！